



お家の方へ



・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

1. している	… 15.2%	(14.9%)
2. どちらかといえば、している	… 42.9%	(35.5%)
3. あまりしていない	… 35.7%	(37.3%)
4. 全くしていない	… 6.3%	(12.2%)

・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）」

1. 3時間以上	… 4.5%	(9.9%)
2. 2時間以上、3時間より少ない	… 28.6%	(25.6%)
3. 1時間以上、2時間より少ない	… 42.0%	(34.3%)
4. 30分以上、1時間より少ない	… 12.5%	(17.2%)
5. 30分より少ない	… 9.8%	(8.4%)
6. 全くしない	… 2.7%	(4.4%)

平成31年度全国学力学習状況調査より

※（ ）内は全国（公立）の結果

上記全国学力学習状況調査家庭学習に関連する質問項目について全国並みの結果が出ています。ご家庭で様々な工夫や声掛けをいただいていることと思います。

ここでは家庭学習における、お家の方の心がけを4点紹介します。

1. 「深掘り」をやる

代表的なものは「探究学習」です。その子が夢中になれることを、時間をかけてやっていきます。内容は、気象でも昆虫でも作文でも、本人の興味関心があることから選ぶとよいでしょう。

親子で図書館に行ったり、イベントに参加したりすることもお勧めします。外出が難しい時はインターネットを利用しましょう。親子で動画を観たり、経済産業省の「未来の教室」を活用したりすることをお勧めします。これらを、子どもの関心分野を深掘りさせる場として使うことができます。

その際、「それってなぜそうなっているの？」「それって、どういうことなの？」とぜひ尋ねてみてください。子どもは人に説明することで、モチベーションが上がり、その過程で表現力も身に付いていきます。子どもたちは、夢中になれることは人にも話したくなるものなので、多くの子どもはすすんで返答してくるでしょう。

なお注意点として、子どもの返答に対して評価はしないようにしてください。成果や細部にこだわってダメ出しすれば、せっかくの意欲を奪ってしまいます。



2. 「基礎学習」の時間をつくる

子どもの学習について、「基礎」を心配するご家庭が多いと思います。基礎学習とは、具体的には漢字、計算などで、日頃から習慣的に取り組んでおくといいものです。長期休業中やテスト前など、子どもに「さすがに何かやらないといけない」という意識が生まれやすい時に習慣化させていくといいかもしれません。

- ・毎朝必ず、朝食の後に5分だけテスト範囲の漢字テストをする
- ・授業が終わった学習内容のワークを1日1ページ一緒に取り組む。

など、無理のない量から始めてみましょう。

もちろん学校から出ている宿題にまず取り組みましょう。それとは別に、基礎学習を入れる余裕があればぜひ親子で取り組んでみてください。



3. 予習・復習をする

基本的に復習は、一度やったことのある問題であるため、新鮮味がなく、やる気に繋がらないことがあります。しかし、解ける問題は多く、達成感が得られやすいです。

一方予習は、先々の学習内容を学んでいるという優越感がありますが、わからない問題があるとモチベーションが一気に低下します。

塾などのサポートがあったり、お家の方でもある程度教えられたりするのであれば、予習に取り組みやすいですが、自力で取り組む場合は、基本的に復習を中心に行うほうがスムーズでしょう。

前述している「上手く学習が進まない時は」の「予習・復習を意識した学習習慣」も参考にしてください。

4. やるべきことを「見える化」して、成長を実感する

テスト前期間や長期休業中などの期間中にやるべきことを書き出して「見える化」します。そして終わったら「赤」で消していきます。すると、自分の成長が「見える化」されていきます。

特に長期の休みでは、生活の目標を見失い、ダラダラ過ごしてしまいがちです。「宿題をやりなさい！」と言われて、嫌々やっても長続きしません。そこで、やるべきことを「見える化」して、やるべきことと、自分の成長がわかるようにしていきます。「ToDoリスト」やタスク管理などお家の方が普段からお仕事などで活用していれば、取り組み方のコツなどアドバイスしてあげてください。

家庭学習はレベルアップをするというよりは、学力の維持のため、と捉えるほうが取り組みやすいと思います。地味な取組でも地道にこなしていけば確実に力はついていきます。ご家庭と学校とがつながって子どもたちの学習をサポートしていければ幸いです。

